



レディー・カガ。県内の加賀温泉郷の旅館などで働く女性らが中心となった活動が全国的に取り上げられました。大震災があった今年だからこそ、洒落っ気たっぷりな話題の中にも石川の女性の強さを感じさせられます。

クリスマスにお正月と、街中の雰囲気もなんだかそわそわしてきましたが、そんな中、年末恒例になった、清水寺で発表される今年を象徴する漢字に「絆」が選ばれました。震災、復興を通してみなを感じたその気持ち、石川県にゆかりのある人たちの絆も薄れることなく深まっていくことを願うばかりです。

今回の新聞情報

- (1)レディー・カガ公式HP開設
- (2)憧れの温泉地に和倉22位
- (3)ロシアの大学生日本語研修のため来県
- (4)石川から歴史的な旅始まる

※次回は1月末にお届けする予定です。

Lady Kaga(not Gaga), the campaign led mainly by female inn staff from the Kaga hot springs area, has become a hit throughout Japan. The strength and sense of humor of Ishikawa women is needed even more now after the great earthquake.

The atmosphere in the cities before Christmas and New Year is becoming more and more exciting. The Chinese character "kizuna(絆)" (bonds between people) was selected number one in this year's annual character contest. The hope is that this feeling of unity, restoration and deepening bond between Ishikawa and the affected areas witnessed in the wake of the disaster will not fade away but grow even more strong.

Recent News

(1)The Kaga branch of the Ishikawa Prefecture Ryokan Hotel Association's youth division announced the official "Lady Kaga" site which went live on December 15th. The home page will include discount campaign information as well as a PR campaign of the Kaga hot spring resort village aimed at boosting tourism in the area.

Ten participants of Lady Kaga, all female heads of local ryokan inns and restaurants, also made a courtesy visit to the commissioner of the Japan Tourism Agency, Mr. Hiroshi Mizohata, requesting an invitation to visit the area be sent to Lady Gaga herself on behalf of Lady Kaga.

(2)On December 14th, Recruit Co., Ltd. announced the results of its annual poll ranking the most popular resorts chosen by the public. Wakura resort and Kurobe Kyokoku resort together with other three resorts from Ishikawa prefecture were listed in the top 100, taking 22nd and 23rd places respectively and maintaining their positions from the previous year.

(3)Two Russian students from Irkutsk State Linguistic University visited the Associate Commissioner of Ishikawa Prefecture's Tourism and Exchange Agency. The students will stay in Ishikawa until the end of January and will study Japanese language and culture while here.

(4)On December 17th participants from thirty countries took part in the kickoff event of the Convention on Biological Diversity which opened in Kanazawa. This year marks the 10th anniversary of the convention and this year's focus is the co-existence of nature and humans. Attendees included Ishikawa Governor Mr. Masanori Tanimoto, Kanazawa Mayor Mr. Yamano and Executive Secretary of the Convention on Biological Diversity Mr. Ahmed Joghlaif.

* The next edition is scheduled to be issue in the end of January.

詳しい情報のアクセス先 For more information, please access the following links:

- (1)財団法人石川県国際交流協会 IFIE (Ishikawa Foundation for International Exchange) <http://www.ifie.or.jp/index.php>
- (2)ほっと石川旅ねっと Hot Ishikawa Tabi-Net (Ishikawa Prefecture Tourism Guide) <http://www.hot-ishikawa.jp/>
- (3)石川県 Ishikawa Prefectural Government Official Website <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/>
- (4)首相官邸 Prime Minister of JAPAN (Countermeasures for the Great East Japan Earthquake) <http://www.kantei.go.jp/>

※今後、この情報提供をご希望されない場合は、以下にご連絡をいただければ配信を停止いたします。
If you do not wish to receive these messages in the future, please send an e-mail to following address:

e200500@pref.ishikawa.lg.jp

(問合せ先 / Contact)

IFIE (Ishikawa Foundation for International Exchange)
石川県国際交流協会 TEL/FAX +81-76-262-5931/263-5931(担当:金子)

県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部加賀支部は15日、加賀温泉郷の旅館などで働く女性でつくる「レディー・カガ」の公式ホームページ(H P)を開設した。

同支部が加賀市の山代温泉旅館組合で開催した第2回全体会議で紹介した。H Pには「レディー・カガ」のメンバーが働く旅館や店舗情報、各旅館が提供する「レディー・カガ」にちなんだ

特典が掲載されている。今後、会員の紹介や会員がH P上で加賀温泉郷の魅力を伝える取り組みも実施していく。

H Pの開設はインターネットで公開された「おもてなし動画」が話題となったことを受け、観光誘客を促進するため企画した。全体会議では、会員であることを証明するバッジを作成する計画なども確認した。公式H Pのアドレスは <http://ladykaga.me>

レディー・カガ 公式H P開設

観光情報やメンバー紹介



温泉郷へぜひ来訪を

観光庁通じガガさんに手紙

「レディー・カガ」は19日、溝畑宏観光庁長官を表敬訪問する。観光庁を通じてグループ名の由来となった米人気歌手レディー・ガガさん本人に手紙を送り、温泉郷への来訪を呼び掛ける。

レディー・カガのメンバーである旅館のおかみや飲食店経営者ら開設された公式ホームページ

県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部加賀支部の萬谷浩幸支部長は「ガガさんにレディー・カガの取り組みを知ってもらいたい」と話している。

カイト石川

あこがれ温泉地

和倉22位、黒部峡谷23位

リクルートが14日に発表した「人気温泉地ランキング2012」によると、一度は行ってみたい「あこがれ温泉地」として和倉温泉(石川県七尾市)が全国22位、黒部峡谷温泉群(富山県黒部市)が同23位に入り、昨年とほぼ同じ順位を確保した。一方、最近1年間の満足度では、北陸3県で最も評価が高かった山中温泉(石川県加賀市)でも59位にとどまった。

調査はリクルートが運営する旅行サイト「じゃらん」会員らを対象に9月に実施した。1万103

民間の旅行サイト調査
 満足度では59位・山中

人気温泉地ランキング

あこがれ		満足度	
1	由布院温泉(大分)	1	霧島温泉(鹿児島)
2	草津温泉(群馬)	2	万座温泉(群馬)
3	登別温泉(北海道)	3	乳頭温泉郷・田沢湖温泉(秋田)
22	和倉温泉(石川)	59	山中温泉(石川)
23	黒部峡谷温泉群(富山)	63	和倉温泉(石川)
58	山中温泉(石川)	67	山代温泉(石川)
72	輪島温泉郷(石川)	79	黒部峡谷温泉群(富山)
73	山代温泉(石川)	81	粟津温泉(石川)
		100	宇奈月温泉(富山)

(注)リクルート調べ

1人が回答し、全国331の温泉地のランキングを作成した。一方、実際に訪問した人の満足度ランキングでは、山中のほか、あこがれ温泉地の100位までに入ったのは和倉、黒部峡谷の63位の和倉、67位の山代など6温ほか、58位の山中、72位の輪島温泉が100位までに入ったが、伊泉郷(石川県輪島市)、73位の山代温泉(同加賀市)の5温泉だけ低い結果となった。

食や流行を感じたい ロシアの大学生 来県で抱負



来県したイルクーツク国立言語大のマルチ
チャーノワさんとスペシロワさん=県庁で

日本語研修のため来
県したイルクーツク国
立言語大(ロシア・イ
ルクーツク州)の学生
二人が五日、県庁を訪
れ、北村修観光交流局
次長と懇談した。
二人は、ともに三年
生のターリヤ・マルチ
ヤーノワさん(左)とマ
リア・スペシロワさん
(右)。来年一月下旬ま
での間、ホームステイ
をしながら県国際交流
研修は、同協会主催

協会の研修センターで
日本語を学ぶ。
代表してマルチチャー
ノワさんは日本語で

「おいしい食べ物や作
法、はやっているもの
を体験したい」と抱
負。北村次長は「五感
を発揮して、有意義に
過ごしてほしい」と言
葉を贈った。

同州は一九九一年か
ら県の友好交流地域。

で、二〇〇八年から毎
年受け入れている。例
年十人程度が秋に訪れ
ていたが、今年は東日
本大震災の影響で来県
が遅れ、参加学生も減
った。
(小西亮)

日本語学習に意欲
ロシアの学生2人

県庁を訪問

県国際交流協会の石
川ジャパニーズ・スタ
ディーズ・プログラム
受講のため、3日から
県内に滞在しているロ
シア・イルクーツク国
立言語大のターリヤ・



マルチチャーノワさん

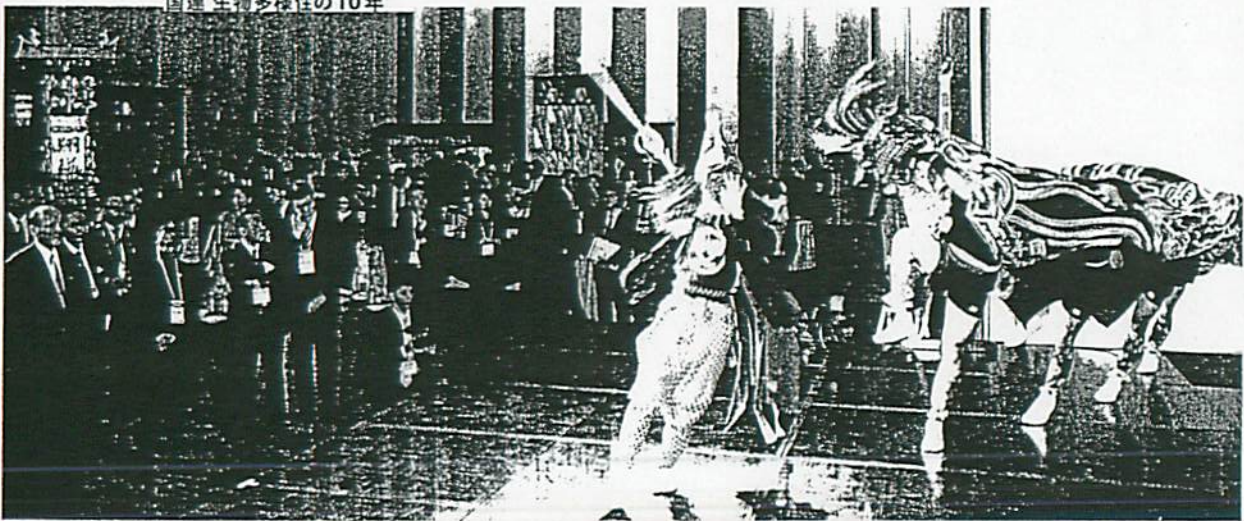
(19) 写真左とマリ
ア・スペシロワさん
(19) 同右は五日、
県庁に北村修観光交流
局次長を訪ね、日本語
学習への意気込みを語
った。

同大は当初、東日本
大震災を受けて研修を
中止する意向だった
が、県の説得で実施が
決まった。2人は「石
川の文化や歴史を学
びたい」「日本人とた
くさん話したい」など
と意欲を示した。1

月27日まで、2人は県
内でホームステイしな
がら県日本語・日本文
化研修センターに通
う。

石川から 歴史的な旅始まる

2011-2020
国連 生物多様性の10年



「石川、金沢から国際社会は歴史的な旅に踏み出した」。17日に金沢市で始まった「国連生物多様性の10年」国際キックオフイベント（開幕行事）で、生物多様性条約のシヨグラフ事務局長は、世界農業遺産「能登の里山里海」を抱えるこの地で、全世界に自然との共生を呼び掛けた。30カ国の参加者は石川の豊かな幸と文化を堪能し、生物多様性の意義を語り合った。（1面に本記）

国際キックオフ・イベント

地域の努力 世界へ貢献

人の営みにも焦点

「生物多様性の基礎は、愛宕邦楽ホールで行われ、人間の多様性を保全することだ」（谷本正憲知事）、フ氏は谷本、山野両氏の「自然、人々、文化は密に繋がっている」（山野）を維持する第一歩だ」と

「ログラムチームリーダーは「人間と自然の関係を再定義する10年」と位置付けた。「過去の経済発展のモデルは伝統的な知識を軽んじてきた。今後

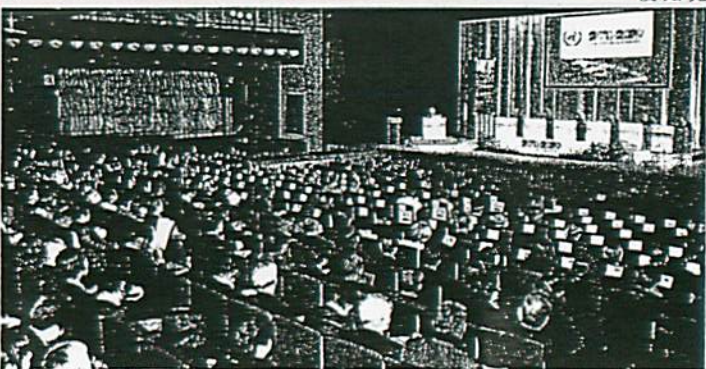
と、多様な文化との共存が密の種だ」と地方が抱える課題を示した。

上国を支援することを申し合わせた。モニック・ハルビュー事務局長は「保護区だけでなく、人々が生活する農林業地域の生物多様性に取り組む」と期待した。

強調した。手付かずの自然を守る重要性はもちろん、能登の里山里海」のように人の手が入った自然が生み出す生物多様性、そこに暮らす人々固有の営みに焦点を当てて意見が、パネル討論で聞かれた。先住民政策提言・教育国際センターのシヨグラフィニョ生物多様性を

はそれぞれの地域の努力が国際社会に大きく貢献する」との考えを示した。「国連生物多様性の10年」日本委員会の浦井史郎委員長代理は日本の「在野」(自分の住む土地が一番いい)との言葉を紹介し「震災を機に日本人はコミュニティの重要性に気付いた。一方、国際標準化の流れ

地球環境ファシリテイ、協力覚書調印環境省と17日には県立音楽堂で環境省と地球環境フアンティ(本部・米ワシントンD.C)が協力覚書に調印。自然の持続可能な利用を図る日本発の「SATOYAMA(里山イニシアチブ)で発展途



石川尽くしのおもてなし

ANAクラウンプラザホテル金沢の歓迎レセプション会場は、春の花嫁のれん、夏のキリコ、秋のはさかけ、冬の雪つりで彩られ、アリアカニ、能登牛、加賀丸いもなど石川の食材だけで作られた料理が振る舞われた。ステージでは珠洲市の馬場キリコ太鼓、志賀町矢駄の獅子舞の迫力ある演技を披露。記念式典の休憩時は七尾

歓迎レセプション

市出身の世界的パティシエ辻口博啓氏が考案した能登、金沢、加賀をイメージしたケーキが用意された。石川の里山、里海の恵みと、そこで育まれた文化を尽くしたおもてなしに、イラン出身のカセム・ウアフアアリ立命館大助教は「繊細な盛り付けの料理や素晴らしい太鼓に感動を受けた」と語った。

歓迎レセプションで参加者を喜ばせた獅子舞。金沢市内のホテルの生物多様性の取り組みを紹介し、パネ